



United Nations
Global Compact

サンダ・オジャンボ氏から国連グローバル・コンパクトの会員の皆様への年頭所感(2024)

国連グローバル・コンパクトの会員の皆様

気候変動、紛争、格差の拡大、社会経済的・地政学的変化といった今日的に大きな課題が深刻さを増している一方、同時多発的な社会的、技術的、政治的、経済的メгатレンドにより、これまでに経験したことのない複雑性、不確実性、混乱が生み出されています。

私たちは、これまで以上に大きく、重大な決断を迫られ、同様に注意が求められ、かつ重大な局面を迎えている課題の増大に直面しているのです。行動したこと、あるいは行動しなかったことの結果が、かつてないほどに大きくなっています。

私は、ここ数年を通じて、民間セクターの強みを梃子にして、問題の解決を図り変革を推進しようとしているビジネスリーダーたちの声を幾度となく聞いてきました。国連グローバル・コンパクトでは、グローバルな、地域的な、あるいは現地での会合の開催を通じ、気候変動に対する取り組み、再生可能エネルギー、生活賃金など多様な課題について分野横断的な解決策やブレークスルーの機会を提供してきました。

イノベーションやソリューションは手の届くところにあるのです。私たちは、直面している課題に対する持続可能な成果を確かなものにできる速度、規模、範囲で行動する必要があります。

25年前、当時のアナン事務総長は、民間セクターに向けて企業のためのグローバル・コンパクトの設立とグローバルマーケットの体現化を提唱しました。その後、グローバル・コンパクトの参加企業は2万社を超えるまでに成長しました。私たちの目標は、特に民間セクターがこれまで以上に必要とされている今、引き続き堅実な成長と分配の軌道を進めることです。

課題の具現化

2023年は、「2030アジェンダ持続可能な開発目標」の実現に向けた中間点にあたりました。持続可能な開発目標(SDGs)の進捗が後退していることは広く認識されています。企業、政府、市民社会、国連などのすべてのステークホルダーが、この現実を受け止め、より懸命かつ賢明に協力することの必要性が強調されました。

これを受けて、国連グローバル・コンパクトでは、「Forward Faster」イニシアチブを開始しました。このイニシアチブは、男女平等、気候変動に対する取り組み、生活賃金、金融と投資、ウォーター・レジリエンスという5項目の重要行動分野に焦点を当てています。これらはSDGsの17の目標すべてにわたって、民間セクターの行動を通じた進歩を加速させる重要な乗数となります。このイニシアチブは2030年に向けた7年間の取り組みであり、全員が参加すべき取り組みです。

重要課題への対処

SDGsの進捗は、国連グローバル・コンパクトの10原則、すなわち、人権、労働、環境、腐敗防止等と密接に関係しています。国連グローバル・コンパクトとその参加者は、2023年を通じて、こうした議題に関する主要会合で重要課題に取り組み、原則と価値に基づいた事業活動が企業に現実的な金融上の価値と持続可能な価値をもたらすことを示しました。

私たちは、世界人権宣言の75年を振り返った第12回国連ビジネスと人権フォーラム以降も、現状の人権デューデリジェンスのためのツールの提供に引き続き取り組んでまいります。

COP28以降、再生可能エネルギー、適応ファイナンスに関する明確なシグナルが出されました。私たちは、民間セクターの投資ロードマップとして機能しなければならない気候変動行動計画の改訂を行う政策立案者と各企業との架け橋となる準備ができています。

私たちは、国連汚職防止条約の第10回締約国会議で初の民間セクターフォーラムを共同主催しましたが、その後、ビジネス・インテグリティの強化を決議した190か国の政府からの支援を原動力にして引き続き腐敗の根絶に取り組むとともに、500社が署名した私たちの行動喚起に従って、民間セクターとの協業を進めています。

先を見据える

2024年、国連グローバル・コンパクトは、各企業が主導し、学び、つながり、提唱し、報告するためのプラットフォームとして、引き続きその役割を果たしていきます。事業運営に10の原則をいかに適用するか、私たちは、実行可能なガイダンスを提供することにより、説明責任、展開、アンビション、動員を重視します。これには、参加者にCommunication on Progressプラットフォームを提供する再活性化の取り組みも含まれています。

アブジャ、バンコク、コペンハーゲン、ドバイ、パナマ・シティに地域ハブを構築することにより、参加企業や現地ネットワークとこれまで以上に緊密な連携を図ります。今後、私たちは変革に必要な現地および地域の規模や範囲に合わせた行動を推進するために、より多くの企業、グループ間のつながりやパートナーシップを求めています。

今年9月の未来サミットは、重大な課題に対する協力を推進し、グローバル・ガバナンスのギャップに対処するための、一世代に一度の機会となります。そこでは、SDGsを含め既存の取り組みを再確認するとともに、多国間のシステムの再活性化に向けて行動します。

私たちは、このサミットに先立ち、またサミットの期間中に、民間セクターを重要な対話に参加させるための態勢を整えています。未来を守り、近視眼的志向に対処し、SDGsを加速させることが、すべて責任あるビジネスの利益になるのです。

私たちが手に入れ、進歩させなければならない民間セクターが主導する機会のために、2万社が共に力を合わせましょう。私は、会員の皆様がグローバルな、地域の、そして現地のプラットフォームやプログラムにご参加下さることを推奨いたします。

国連グローバル・コンパクトの一員として

国連グローバル・コンパクトの一員であることは、グローバルプラットフォームにおいて、SDGsに対する重要な貢献者として民間セクターの声を推進することになります。つまり、エネルギー、気候、食糧システム、教育、デジタル接続、雇用といった重要な変革に民間セクターを巻き込むことを意味します。そして、地域の優先事項を前進させるための強力な地域プラットフォームを構築することを意味します。

私たちが2023年に活動した場所を見てみると、その一部では、欧州で再生可能エネルギーを推進することであり、アマゾンで企業が主導する生物多様性の保全を進めることでした。また、スリランカでは業種を超えて、職場における性差別と闘い女性のスキル向上に取り組み、またウクライナでは戦争中にもかかわらず中小企業の事業再構築を支援することでした。ナイジェリアでは、持続可能な輸送のために官民が連携することでした。米国では、民間セクターを巻き込んで、企業とそのそれぞれのグローバル・サプライチェーンがSDGsと10原則を業務に完全に統合するためにリソースとサポートを確保することでした。

国連グローバル・コンパクトの一員であることは、世界でより強力な企業とよりレジリエントな経済を育むことになります。

これは、私たち全員が望んでいる未来を垣間見ることです。2024年、これまで以上に勇敢に、大きな望みを持って進みましょう。

どうぞよろしくお願いいたします。

サンダ・オジャンボ



国連グローバル・コンパクト事務局長兼CEO
事務総長補佐